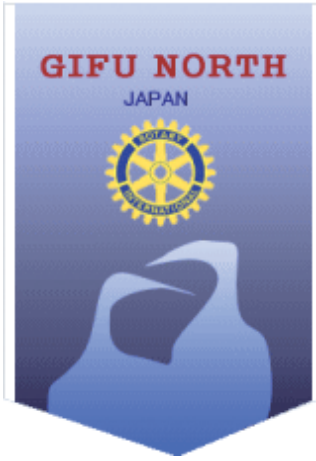


# 岐阜北週報



9月

新世代のための月間

<input type="checkbox"/> 題字	岡田 忍	<input type="checkbox"/> 会長	岡田 忍	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	波多野光裕	2010-2011
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	谷田 育子	No.1370
		会報委員長	長野 鉄司	10.9.15 発行

## 前回の記録

第 1369 回例会 9/8 (水)  
クラブフォーラム (4)  
担当：社会奉仕委員会

## 本日の予定

第 1370 回例会 9/15 (水)  
卓話①「老後の健康管理について」  
講師：米本接骨院院長 米本光吉  
担当：岡川・山口

## 次回の予定

第 1371 回例会 9/22 (水)  
早朝例会  
担当：プログラム委員会

## 会長挨拶 【岡田 忍 会長】

皆さんこんにちは。

先日の日曜日、「第 20 回岐阜北ロータリーカップ・バレーボール大会」が開催されました。朝早くからメモリアルにお出掛け頂いた会員の皆様ご苦労様でした。又、決勝戦は 10 月 17 日 (日)・11 月 14 日 (日)に行われますので、お時間の許す方はお出掛け下さい。

9 月にして、いよいよ話のネタが無くなりました。今ですと、民主党の代表戦の話題、経済の話題をお話すれば良いのかもしれませんが、私には皆様の前でお話するような知識もございませんので今日は皆さんにクイズを出してお茶を濁そうかと思ひます。

皆さん、「岐阜市まちなか博士認定試験」というのをご存知ですか？岐阜市が主催するご当地検定制度です。市民の皆さんに岐阜についての知識を深めていただき、岐阜の良さの再発見、観光客などに対するホスピタリティの向上を目的としているそうです。2005 年から始まり、昨年度は初球を 281 名の方が受験され 180 名が合格。合格率 64.1%。上級は 123 名の方が受験され、34 名の合格。合格率 27.6%でした。ではいきます。まずは初球から。

第 1 問 岐阜市では、昭和 47 年に「緑のまちづくり委員会」が市民の公募により「市の木」「市の花」を選定した。さてその「市の木」「市の花」は何？

【答え】木・「つばらじい」 花・「サルビア」

第 2 問 平成 21 年 9 月に、市民の寄付により JR 岐阜駅北口広場に「信長公の銅像」が建立された。台座までは約 8m、では像の高さは

## 会長挨拶続き

何mでしょうか？

【答え】約 3メートル

第 3 問 岐阜の方言である「じょうらかす」の意味は？

【答え】ひざをくずす。(まあ、どうぞ、じょうらかいてくんせー)

このように、岐阜市の歴史・文化・生活から、様々な問題が用意されています。初球は四者択一で 50 問。上級は四者択一 25 問・記述式 25 問の出題です。我こそはと思われる方、一度チャレンジしてみても如何でしょうか？ちなみに、今年度の受付は 10 月から、試験は来年 1 月だそうです。

## 出席報告

会員数：36 名  
出席数：34/36  
出席率：94.44%  
欠席者：2 名 (出席免除 2 名 100%)

## ニコニコBOX

山本満祥(環境保全委員)：

環境保全に協力を。

片桐順一郎：

美濃加茂 RC (環境保全委員) をお招きして。

安藤武司：

氷見 RC 訪問に多数の参加ありがとうございます。

若山和正：

台風の被害が少ない様に。

## 報告事項

○プログラム委員会 塚原進  
9月22日(水) 早朝例会の案内

○クラブフォーラム(4)  
「環境保全委員会の事業」 担当：社会奉仕委員会

地区環境委員会の事業について  
第2630地区環境委員会 山本 満祥

今期の環境委員会の活動は1、エコドライブ・CO2削減 2、マラウィに蚊帳を送る 3、生物多様性を図るの3項目を提案しております。まずエコドライブについて運転は4つパターンに集約されます。発進はフワリアクセル、巡航は一定のアクセル操作で、踏みもせず・放しもせず、減速のときは急ブレーキではなく早めにアクセルを放して徐々に減速、ゆっくりブレーキが踏んで止まる。これを心がければエコドライブ間違いありません。

CO2削減では家電・住宅その他税金・などの制度がありますがお金がかかります。最も良いのは現行の家庭での電気・水の省エネだと思います。

次にマラウィに蚊帳を送ることについては青少年委員会とタイアップしての活動ですが、A分区のIMにおいて故金氏が報告されたと思います。

生物多様性については今年4月18日の高山での地区協議会の分科会で小川委員長が今年度の最重要課題として位置づけられました。分科会では2人の基調講演を通して生物多様性について勉強させていただきました。生き物のにぎわいについて新村様、漁協によるこれからの増殖事業について徳田様から講演いただきました。新村様は今守るとか保全するという段階ではない活かしていく時代になった。生物多様性とは地域における遺伝子・種・生態系からできている総体が様々なものから成り立っていることであり、目に見える多様性と目に見えない多様性がある。生態系サービスという言葉がありますが、供給・調整・文化的・基盤・保全の5つのサービスがあります。人間の受けている恩恵のほとんどが生態系サービスであり、しかしサービスは無償ではありません。今後の課題として種の減少、生息地の減少、土地の手入不足による自然の変化、外来種の持込による攪乱があり、これに対し生物多様性を社会に浸透させるなどの国家戦略も考えられる。

## 報告事項

漁協による人為的手段により採捕の目的を持って水性動植物を増加させる行為が行われている。漁業について生産性や経済性だけで事業を行う事は今後無理がある。ダムによる治水による河川の変化に魚道ではなく人工の河を作り自然のまま産卵できるようにする。魚道を造るより土地も少なく、安価で自然を守ることができる。

以上今年度地区環境保全委員会としての3つのテーマをもとに活動いたします。

地区委員会の役割は各クラブの委員会活動の支援であり、一つのクラブでできないような活動を代行、助言することです。このような地区組織やクラブから遊離した活動はできず、継続的活動であっても地区の方針によっては見直しが必要になります。

この様に各クラブの活動があつて地区も活動ができます。クラブへのお願いですが、森・里・川・海の保全にかかる活動の一つ実践していただきたい。



次回例会のご案内  
第1370回 9月22日(水)  
早朝例会  
担当：プログラム委員会

会報・広報9月担当 岡田一二三